

令和5年度第3回青梅市文化財保護審議会会議録

日 時

令和6年3月26日（火） 午後2時00分～午後4時00分

会 場

青梅市役所2階災害対策本部室

出席者

（委 員）

稲葉会長、山本副会長、馬場委員、保坂委員、棚橋委員、
久保田委員、西村委員、三戸委員

（事務局）

橋本教育長、森田部長、北村課長、小峯係長、岡本主任、
高野主任

欠席者

（委 員）

沖川委員、守田委員

開会（事務局）

1 教育長あいさつ

2 報告事項

（1）指定文化財の現状変更等について

事務局から、市指定天然記念物御嶽神社参道の杉並木や市指定史跡
武蔵御嶽神社の現状変更等について説明。

質疑・応答・意見

【委 員】最近、御嶽神社参道の杉並木の伐採が多く見られるが、今回
の伐採した後の処置はどのようなになっているのか。

【事務局】現時点で輪切りにして参道脇に集積しているが、運び出すと
伺っている。

【委 員】伐採した杉の年輪を数えれば江戸時代のいつ頃からあったの
か確認することができるので、できれば保存してほしい。

【事務局】今回伐採した7本の杉については、専門家の意見を伺いながら実施したものである。樹勢が衰え、根の腐食や根上がりが顕著で傾斜しているもの、また、ケーブルカー線路に接する場所にあり、樹木が倒れた場合、線路や電線を損壊させるなど山上集落の生活に重大な被害を及ぼすために伐採することになった。枯損木を中心に伐採しているため輪切にできるものは少ないが保存できるものがあれば、神社と相談する。

【委員】宝物殿近くの石段の修繕について、古い石段の活用など、どのような方法で行うのか。

【事務局】杉の木近くの石段は白御影石に交換して階段を作り直し、青銅鳥居近くの石段は古い石を詰めて修繕すると伺っている。

【委員】石段の工事を行う際に、杉の木の根を傷めないように注意してほしい。

【事務局】承知した。工事の前に神社に伝える。

(2) 令和5年度指定文化財保存修理事業について

事務局から、都指定有形文化財旧吉野家住宅土壁等修繕など7件の令和5年度修理事業について進ちょく状況を説明。

質疑・応答・意見

特になし。

(3) 令和6年度事業計画について

事務局から、令和6年度の事業計画について説明。

質疑・応答・意見

【委員】特別展「青梅線開通130周年」の会期について、子供向けに夏休み期間中から、なぜ開催しないのか。プレ展示のような形で実施できるとよい。

【事務局】青梅線沿線自治体と協議する中で、9月から11月に実施する自治体が多く、足並みを揃えるため、この会期とした。夏休み期間、子供向けのイベントとして郷土博物館近くの多摩川で動植物の観察会ができたかと考えている。

【委員】「新収蔵品展2024」の目玉は何か。

【事務局】旧家から発見された古文書や市内で100年続いた豆腐店から寄贈された豆腐製造道具等の展示を予定している。

【委員】新収蔵品展を副題にして、展示の目玉をタイトルにしてはどうか。

【事務局】御意見として参考にさせていただく。

【委員】開館50周年記念展の内容について、郷土博物館が開館するに至った経緯、博物館の収集、文化財保護活動、文化財調査活動、出版活動などを紹介してほしい。

【委員】日頃から地域の人と結びつき、積極的に広報活動を行い、例えば、町会長に内覧会に来てもらい、そこから人々に関心を持ってもらえるような活動を試みるのも一つの方法である。

【事務局】御意見として参考にさせていただく。

(4) その他

【事務局】このたび郷土博物館で作成した刊行物については、別途郵送する。

3 協議事項

(1) 指定文化財の指定候補について

事務局から、下山八幡神社の鳩や飯綱権現騎馬像などの文化財の指定候補の進ちょく状況について説明。委員から、報恩寺地藏菩薩坐像および二童子立像の調査について報告。

質疑・応答・意見

【委員】梅郷の山桜はどこにあるのか。

【事務局】梅ヶ谷峠に向う道の近くにある。

【委員】寺改戸遺跡出土土器とは。

【委員】注口土器が出土した土壌の近くから出土したもの。

【委員】霞台遺跡出土土器とは。

【委員】昭和47年に発掘調査した土器や石器の一括出土したもの。

【委員】今後、令和6年度以降の指定に向けて検討していく。

(2) その他

質疑・応答・意見

特になし。

4 その他

質疑・応答・意見

【事務局】 今期の文化財保護審議会の任期が、本年 3 月 3 1 日をもって満了となる。

5 次回の開催について

【事務局】 6 月から 7 月ごろを予定している。

閉会（事務局）